

## 2015 年度事業報告書

自 2015 年4 月 1 日

至 2016 年3 月 31 日

### 公益目的事業

視能障害防止および眼保健衛生の普及・啓発を図ることによって国民の健康維持向上に寄与することを目的とした健診・調査・広報・出版・災害時支援事業と、視能に関する学問・技術の発展と優れた人材育成を図ることによって臨床現場で質の高い医療を提供することを目的とした学会・講習研修・教育事業

#### 【1】国民への眼保健衛生の普及・向上に関する事業

##### 1. 健診に関する調査・支援事業（以下、健診事業）

- (1) 新生児から成人に至るまでの視覚発達に関する情報をインターネットホームページに掲載した。
- (2) 視覚感受性期にある乳幼児を対象とした「目の健康チェックシート」を引き続きインターネットホームページに掲載（ダウンロード可能）するとともに、当該文書を94箇所の各市区町村保健センターへ配布し、乳幼児期に発見し治療すべき疾患への注意を促した。
- (3) 三歳児健康診査での眼科検査方法を解説した「三歳児健診マニュアル」を引き続きインターネットホームページに掲載し（ダウンロード可能）、検査技術及び精度の地域格差の改善に努めた。
- (4) 成人以降に発症する眼疾患への注意を促すための成人版「目の健康チェックシート」として「あなたの目、本当に大丈夫ですか？」のリーフレットを作成し、掲載内容の監修を受けた公益財団法人日本眼科学会および公益社団法人日本眼科医会理事に配布し全国の医療関連施設での活用を依頼するとともに、本協会が主催する学術集会「第56回日本視能矯正学会」参加者に配布し、本協会が成人の眼科検診を促す取り組みに理解と協力を求めた。

##### 2. 広報事業

- (1) インターネットホームページ等を通じて社会へ眼保健衛生の啓発と推進を行った。
- (2) インターネットホームページに倫理規程を公示し、視能訓練士の職業倫理の高揚と業務への責任を喚起する活動を行った。
- (3) リニューアルした協会ポスターとリーフレットを会員や関連諸団体へ配布して「視能訓練士」の名称および職務の広報に努めた。
- (4) 全国で開催される「目の愛護デー」関連事業へ参加協力し、眼保健衛生の普及・向上・啓発に努めた。特に東京都においては、東京都眼科医会が主催するTokyo Eye Festivalに参加し、視力検査、ロービジョンコーナー、盲点体験コーナー、ミニレクチャー（視能訓練士の仕事・視覚障害者の介助）で来場者に技術と知識を提供しつつ視能訓練士がquality of visual lifeに果たす役割を広くアピールした。本協会へ協力あるいは後援（名義借用）の要請があった事業は、以下の通りである。

2015年10月3日（土）・4日（日）：目の愛護デー「Tokyo Eye Festival」（東京）

参加した視能訓練士：3日17名、4日16名

来場者：3日1,362名、4日1,210名

2015年10月4日（日）：目の愛護デー・京都「眼科一般検査」（京都）

参加した視能訓練士：15名

来場者：504名

- (5) 東京都看護協会がナイチンゲール生誕記念事業として主催する「看護フェスタ」へ参加し、来場者の視力検査を行い、眼疾患予防を啓発するパンフレットおよび視能訓練士に関するリーフレットを配布した。

2015年 5月16日(土)：新宿西口イベント広場

参加した視能訓練士：4名 検査実施者数：175名

- (6) 中学生・高校生を対象に視能訓練士の職務を、視能矯正学を学ぶ学生を対象に協会活動をそれぞれ紹介する機会を積極的に設け、早期から本職や本協会への興味や理解を促した。前者については、インターネットホームページを通じて視能訓練士の職務および資格取得の方法を紹介するとともに、7月30日(木)に福岡国際センターで開催されたマイナビ九州夢大学 in 福岡の「おしごと研究ゾーン」に視能訓練士1名を講師として派遣し、高校生とその教員33名に対して視能訓練士の業務内容や両眼でものを見ることの重要性を説明した。また、NPO学校サポートセンターを通じた修学旅行を兼ねた訪問学習として新潟県立糸魚川高等学校からの2年生6名を受け入れた(2015年10月7日(水)帝京大学医学部附属病院眼科外来において実施)。後者については、協会活動に関するCD-ROMを全国の養成校へ配布し、理事を養成校へ派遣して協会活動を説明するとともに、視能矯正学を学ぶ学生に対しては、資格取得前から生涯教育事業や本職について理解を深めるためのJACOメイト制度を紹介し、入会勧誘を行った。(2015年度のJACOメイトは595名)
- (7) 視能訓練士に向けた倫理規程、学会・講習会等の案内、厚生労働省からの通知や求人情報等の配信等を含めインターネットホームページの拡充を行った。

### 3. 調査事業

- (1) 視能矯正・訓練普及の実態調査を行った。
- (2) 視能の病態および視能矯正の実態調査を行った。
- (3) 2015年6月に正会員を対象にした視能訓練士実態調査をアンケート形式にて実施し、その結果に基づいた「視能訓練士実態調査報告書」を作成・発行した(6,900冊)。また、インターネットホームページに掲載した(ダウンロード可能)。
- (4) 新規免許取得者の就業状況調査を行い、新卒者の就業傾向を把握した。
- (5) 定款施行規則を検討し、必要に応じて改定した。

### 4. 渉外事業

- (1) 国内関係諸団体との相互協力について密に交流を行った。
  - 1) 監督官庁(内閣府)及び関係官庁(厚生労働省・文部科学省)へ、協会の現況について連絡交流を図った。
  - 2) 研究諸団体(日本眼科医会・日本眼科学会・日本弱視斜視学会・日本眼光学学会・日本小児眼科学会・日本ロービジョン学会・日本視野学会等)と学術・技能向上の為に提携交流を図った。
  - 3) 医療研修推進財団・国際医療技術財団・医療技術者21団体協議会・東京都医療従事者ネットワーク連絡会に参加し、医療技術者団体間での交流を図り、医療技術者の相互理解を深めた。
  - 4) 国民医療推進協議会(会長：日本医師会会長)へ参加し、同盟団体と協力して国民皆保険制度を守る活動を行った。

2015年12月9日(木)国民医療を守るための総決起大会(日比谷公会堂 参加した会員2名)

- 5) チーム医療推進協議会へ参加し、医療技術者団体間の連携を深め、医療技術者の社会的地位向上に向けた活動を行った。
- (2) 国外の視能矯正学分野に関係する団体と交流し、知識・技術の提携を行った。
  - 1) 国際視能矯正協会代表者会議及び年次総会に出席した。

2015年国際視能矯正協会 (IOA) 理事会 2015年 9月17～19日：スイス ルチェルン

2015年国際視能矯正協会 (IOA) 年次総会 2015年 9月19日：スイス ルチェルン

2) アジアの友好国 (フィリピン、タイ、カンボジア、モンゴル、シンガポール等) との関係を深め、眼科学校健診をテーマにセミナーを開催した。

2015年8月24日 (月) ～30日 (金)：モンゴル ウランバートル 参加した視能訓練士：2名  
視覚健診参加者は、エルデミンウルゴー総合学校 106名：ブルガン第1小学校123名、ヒッシングウ  
ンドゥル村総合学校 56名、合計285名であった。検査項目は自動屈折検査、視力、立体視、眼  
位・眼球運動検査を実施した。

## 5. 出版事業

- (1) 日本視能訓練士協会誌 (学術論文集、第44巻) を雑誌として発刊 (6,500冊) し、電子ジャーナル (J-STAGE) を公開した。
- (2) 日本視能訓練士協会会報 (第125号、第126号) を2015年10月と2016年3月に発行した (第125号：6,750冊、第126号：6,900冊)。

## 6. 災害時支援事業

- (1) 東日本大震災の被災地区における眼科医療活動 (プロジェクト・ビジョンバン) へ参加協力し、被災県を含む東北6県において主に被災者を対象とした眼科検診を検査面から支援した (2014年度は北海道でも眼科検診が行われたが、今年度はなかった)。

宮城県	41名	(11回)	
岩手県	6名	(3回)	
福島県	3名	(1回)	
山形県	4名	(2回)	
青森県	6名	(2回)	
秋田県	3名	(1回)	計 63名 カッコ内は出務回数

- (2) 首都圏での大規模災害発生時、公益目的事業の遂行に必要な事務局環境の整備改善を行った。

## 【2】国民に良質で安全な医療技術を提供するための視能訓練士教育事業

### 1. 学会事業

- (1) 日本視能矯正学会を開催し、次年度以降の学会開催準備を行った。

- 1) 第56回 (2015年) 学会開催準備及び開催

2015年11月7日 (土)・8日 (日)：東京国際フォーラム (東京)

学会テーマ：「Fusion 知識、技術そして心」

学 会 長：根本 加代子 (根本眼科)

名誉会長：根本 龍司 (根本眼科院長)

参加者：2,664名 (会員 1,774名、非会員 366名、学生 524名)

- 2) 第57回 (2016年) 学会開催準備

2016年10月15日 (土)・16日 (日)：大阪国際会議場 グランキューブ大阪

学 会 長：松本 富美子 (近畿大学医学部堺病院)

名誉会長：日下 俊次 (近畿大学医学部堺病院)

- 3) 第58回 (2017年) 学会開催準備

2017年10月28日 (土) 29日 (日)

会場：仙台国際センター

学会長：小野 峰子（東北文化学園大学）

4) 第59回（2018年）学会開催準備および学会長選考

(2) 日本臨床眼科学会視能訓練士プログラム、インストラクションコースを企画および開催し、次年度の開催準備を行った。

1) 第69回日本臨床眼科学会 視能訓練士プログラム

2015年10月25日（日）

会場：名古屋国際会議場

テーマ：「視力検査－視力表選択の根拠と測定のコツ－」

参加者：710名

2) 日本臨床眼科学会インストラクションコース

2015年10月24日（日）

会場：名古屋国際会議場

テーマ：「やってみよう、斜視の視能訓練」

参加者：477名

3) 第70回日本臨床眼科学会視能訓練士プログラム、インストラクションコース準備

2016年11月3日（木）～11月6日（日）

会場：国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都

## 2. 講習研修事業

(1) 講演会を開催し、次年度の開催準備を行った。

1) 第31回開催 2015年6月14日（日）：ニッショーホール（東京）

講演内容：「強度近視に起因する斜視の新しい概念」

演者：横山 連（大阪市立総合医療センター）

参加者：591名（会員474名、非会員7名、学生110名）

2) 第32回開催準備

2016年6月5日（日）：大阪商工会議所（大阪）

(2) 研修会を開催し、次年度の開催準備を行った。

1) 第14回研修会開催 2015年6月14日（日）：ニッショーホール 第31回講演会と併催

研修内容：「緑内障視野検査～コツと落とし穴～」

参加者：591名

2) 第15回研修会開催準備 2016年6月5日（日）：（大阪）第32回講演会と併催

(3) 光学と眼鏡に関する研修会を後援し、次年度の開催準備に協力した。

2015年8月1日（土）・2日（日）：機械振興会館（東京）

参加者：127名（視能訓練士協会正会員80名、非会員2名、眼科医11名等）

(4) 視能訓練士のためのロービジョンに関する講習会を日本ロービジョン学会と共催し、次年度の開催準備に協力した。

2015年9月20日（日）・21日（月・祝日）・22日（火・祝日）：

東京大学病院入院A棟15階大会議室

参加者：32名

## 3. 教育事業

(1) 視能訓練士生涯教育制度の各教育プログラムを実施した。

1) 新人教育プログラム

## 講義日程

2015年 7月 19日(日)・20日(月・祝) AP浜松町(東京)

受講者：120名

2015年 9月 20日(日)・21日(月・祝) 大阪商工会議所(大阪)

受講者：95名

## 技術日程 ブロック単位開催

### 北海道ブロック

8月30日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査	萬田記念病院
9月13日(日) 視力・屈折検査	萬田記念病院
10月18日(日) 視野検査	吉田学園医療歯科専門学校

### 東北ブロック

10月11日(日) 視野検査	仙台医健専門学校
10月12日(月・祝) 両眼視・眼位・眼球運動検査	仙台医健専門学校
11月29日(日) 視力・屈折検査	東北文化学園大学

### 関東甲信越ブロック

7月26日(日) 視野検査	帝京大学医療技術学部
9月27日(日) 視力・屈折検査	帝京大学医療技術学部
2016年1月17日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査	帝京大学医療技術学部

### 東京ブロック

7月26日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査	帝京大学医療技術学部
9月27日(日) 視野検査	帝京大学医療技術学部
2016年1月17日(日) 視力・屈折検査	帝京大学医療技術学部

### 東海・北陸ブロック

6月21日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査	愛知淑徳大学
10月10日(土) 視野検査	愛知淑徳大学
10月11日(日) 視力・屈折検査	愛知淑徳大学

### 近畿ブロック

6月21日(日) 視力・屈折検査	関西医科大学附属枚方病院
6月27日(土) 視野検査	大阪医専
8月22日(土) 両眼視・眼位・眼球運動検査	大阪医療福祉専門学校

### 中四国ブロック

7月12日(日) 視力・屈折検査	川崎医療福祉大学
11月29日(日) 視野検査	川崎医療福祉大学
2016年3月6日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査	川崎医療福祉大学

### 九州ブロック

10月25日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査	熊本大学医学部山崎記念館
11月22日(日) 視力・屈折検査	大分視能訓練士専門学校
11月23日(月・祝) 視野検査	大分視能訓練士専門学校

受講者合計：413名(2016年3月31日現在)

## 2) 基礎教育プログラム

基礎教育プログラムⅡ 開催

2015年 7月 18日(土)・19日(日)・20日(月・祝) AP浜松町(東京)

受講者: 198名

2015年 9月 19日(土)・20日(日)・21日(月・祝) 大阪商工会議所(大阪)

受講者: 94名

#### 基礎教育プログラムⅢ 開催

2015年 10月 10日(土)・11日(日)

機械振興会館(東京)

受講者: 視能障害 53名 視能矯正 52名

2016年 2月 20日(土)・21日(日)

CIVI研修センター新大阪東(大阪)

受講者: 視能矯正 50名 視能障害 50名

### 3) 専門教育プログラム

専門教育プログラムの実施に向け、当該シラバス策定のために「専門視能訓練士の目的」を検討し明文化した。また、専門教育プログラムに使用する専門書を作成すべく、出版会社と共同で執筆者を選出し、執筆依頼を行った。

(2) 公益財団法人医療研修推進財団が主催する実習施設指導者等養成講習会を後援した。

2015年9月19日(土)・20日(日)・21日(月・祝) 大阪医療福祉専門学校(大阪)

受講者: 59名(全員修了、修了者合計 1,328名)

(3) 施設見学研修を行った。

実習施設指導者等養成講習会修了者が勤務する施設で、2015年9月から2016年3月の間、希望者に対して施設の見学および研修を行った。

(実施施設: 13施設 参加者: 23名)

(4) 「眼科スタッフビデオ」シリーズのDVDを希望者に貸し出し、技術研修に役立てた。

## その他の事業(相互扶助等事業)

視能訓練士の資質向上を目的とした自己研鑽を奨励し、学術技能を評価して認定および表彰する事業

### 1. 認定視能訓練士に関する事業

(1) 視能訓練士生涯教育制度基礎教育プログラムを修了し、所定の条件を満たす者を「認定視能訓練士」と認定し、以後5年ごとの認定更新を行った。(2015年度新規認定: 112名、認定更新6名、認定者合計417名)

(2) 専任教員認定制度の認定条件を満たす者を「認定専任教員」と認定し、以後5年ごとの認定更新を行った。(2015年度新規認定: 4名、認定更新: 0名、認定者合計30名)

(3) 視能訓練士専任教員認定制度を見直し、改定した。

### 2. 学術奨励賞に関する事業

(1) 日本視能訓練士協会誌第44巻に投稿された学術論文の対象論文から選考し、以下の1論文に授与した。

受賞論文: 「みやぎ視能訓練士の会のビジョンバン活動への取り組み」

受賞者: 川上 綾子氏(みやぎ視能訓練士の会、加藤眼科医院)

## 「附記」

2015年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な項目」が存在しないので作成しない。 以上